

A 高齢者福祉

分類番号	VHS	DVD	タイトル	サブタイトル	企画	製作	制作年度	時間(分)	内容
A001	○		在宅介護の仕方第1巻介護する心構え			キングレコード(株)	1994	22	・介護を受ける身になって ・プライドを傷つけない ・生活にリズムを、張りのある生活を ・介護者の健康管理 ・自治体のサービス利用
A002	○		在宅介護の仕方第2巻日常生活の介護(1)			キングレコード(株)	1994	26	・環境づくり ・排泄の世話 ・睡眠
A003	○		在宅介護の仕方第3巻日常生活の介護(2)			キングレコード(株)	1994	21	・食事の世話 ・移動の世話 ・入浴の世話
A004	○		事例で学ぶ在宅介護の実際①			中央法規出版	1996	19	寝たきり予防と介護の心がまえ
A005	○		事例で学ぶ在宅介護の実際②			中央法規出版	1996	25	移動の基本
A006	○		事例で学ぶ在宅介護の実際③			中央法規出版	1996	19	清潔を保つ
A007	○		事例で学ぶ在宅介護の実際④			中央法規出版	1996	18	食事介護の基本
A008	○		事例で学ぶ在宅介護の実際⑤			中央法規出版	1996	20	福祉用具の活用と暮らしやすい住宅改造
A009	○		寝たきり老人ゼロ作戦	①寝たきり老人ゼロをめざして		NHKソフトウェア	2000	30	西暦2000年には日本の寝たきり老人の数が百万人と言われるなか、ヨーロッパではほとんど寝たきり老人は存在しないと言う。事実ならば、日本の何が大量の寝たきりを作り出したのだろうか？日本社会独特のいたわりのところが寝たきり老人を生み出す結果となった。いま、寝たきり
A010	○		寝たきり老人ゼロ作戦	②生きる意欲を支えるもの		NHKソフトウェア	2000	30	リハビリという長い道程に参加している療法士、看護婦、医師、保健婦、そして何よりも家族の暖かな励ましが老人の生きようとする心の灯を点し続ける。
A011	○		寝たきり老人ゼロ作戦	③地域ケアの実現		NHKソフトウェア	2000	30	広島県御調町で行われている「地域ケア」。地域社会が連携して、悩める家族を支えた。そのノウハウの全て！
A012	○		おっと危ない！	—お年寄りの住まいの事故—		(株)読売映画社		15	家庭内におけるお年寄りの事故を未然に防ぐには、どうしたら良いかをドラマ仕立てでわかりやすく紹介。
A013	○		おじいちゃんが階段をおりるとき	—明るい長寿社会をめざして—	栃木県	(株)共同テレビジョン		39	真に長寿社会を喜びあえる社会を築くためには、高齢社会とはどのような社会なのかを認識すると共に、高齢者と「共に生きよう」とする心が重要です。そのために自分達ができることは何かを考え、元気に活動している高齢者を改めて見直し、自分たちの将来について考える。
A014	○		老いをすこやかに		国民健康保険中央会	岩波映画製作所	1993	40	障害のある人たちが施設で生活している。ボケにならないためにはどうしたらよいのかなどを紹介。
A015	○		老年期をどう生きるか	—心の健康—		(株)桜映画社		33	「老年期を迎える心の準備をどうするか」「明るい老年期をどう生きるか」等の話し合いの資料としてご活用ください。

A 高齢者福祉

分類番号	VHS	DVD	タイトル	サブタイトル	企画	製作	制作年度	時間(分)	内容
A016	○		心がうごけば身体も動く 上	リハビリを楽しく	老人介護研究会	(株)テック映像アカデミー		30	スタンディングテーブル、スゴロクゲーム、黒板ゲーム、風船バスケット、付録(評価)の実際。
A017	○		心がうごけば身体も動く 下	リハビリを楽しく	老人介護研究会	(株)テック映像アカデミー		30	ふれあいボール、百人一首、競馬ゲーム、風船バレーの実際。
A018	○		リズム体操	心と体のビタミン体操	(財)長寿社会開発センター			15	高齢者の方が日常生活や、さまざまなつどいの中で楽しく健康づくりができるようにそれぞれちがう3つの体操を紹介。
A019	○		よりよい介護生活を送るために		東京シネ・ビデオ(株)	東京シネ・ビデオ(株)	2000	28	このビデオは、実際に介護に直面している方々の介護の現場取材して、そこから介護を乗り切るための具体的な知識や方法を学ぶ。
A020	○		ホームヘルプサービスの危機管理	①危機予防マネジメント ②危機対処マネジメント	NPO法人ケア・センターやわらぎ	中央法規出版	2001	各23	危機を恐れるあまりに自己防衛的になっていたのでは、ホームヘルプサービスの質を確保し維持することはできません。本ビデオには、利用者が必要とする質の高いサービスを提供するために、起こりうる危機を見定め、予防し、危機発生に際しても的確な対処を行うためのノウハウ
A021		○	在宅介護の基礎と実践 第1巻	在宅介護の進め方・体を動かす介助		NHKエデュケーショナル	1996	53	第1巻①在宅介護を始める時 ②介護体制を整える ③好ましい住環境 第2巻①大切な基本動作 ②ベッドの上の介助 ③立ち上がりや歩行の介助
A022		○	在宅介護の基礎と実践 第2巻	食事のお世話と工夫・健康チェック・薬の服用		NHKエデュケーショナル	1996	52	第3巻①お年寄りの体と食事 ②お年寄りに合った調理方法 ③食事の介助 ④自助具の活用 第4巻①健康チェックのポイント ②薬の服用と管理
A023		○	在宅介護の基礎と実践 第3巻	排泄の自立と介助・清潔の介助と工夫		NHKエデュケーショナル	1996	60	第5巻①トイレの工夫と介助 ②便器の介助 ③おむつの介助 第6巻①入浴の知識と介助 ②清拭・部分浴のお世話
A024		○	在宅介護の基礎と実践 第4巻	床ずれの知識・防ぎ方・衣類の選び方と着替えの介助		NHKエデュケーショナル	1996	54	第7巻①床ずれの基礎知識 ②床ずれの予防とケア 第8巻①着替えの効用 ②衣類の選び方 ③着替えの介助
A025		○	在宅介護の基礎と実践 第5巻	応急処置の心得・お年寄りが気をつけたい病気		NHKエデュケーショナル	1996	54	第9巻①大切な応急処置 ②発作のときの応急処置 ③救急車の手配 ④事故のときの処置方法 第10巻①お年寄りの病気の特徴 ②気になる症状とかかりやすい病気 ③心のケアの大切さ
A026		○	在宅介護の基礎と実践 第6巻	認知症の始まり;その進行とリハビリ		NHKエデュケーショナル	1996	58	第11巻①認知症の始まり ②接し方とリハビリ ③施設や病院を積極的に利用する 第12巻①認知症の進行 ②対応と治療 ③社会と共に生きる
A027		○	在宅介護の基礎と実践 第7巻	家庭でのリハビリ・言語障害のリハビリ		NHKエデュケーショナル	1996	60	第13巻①生活のためのリハビリ ②リハビリを成功させる3つのポイント ③心のリハビリ 第14巻①言語障害の基礎知識 ②家庭でのお世話 ③有効なグループ訓練
A028		○	在宅介護の基礎と実践 第8巻	上手な睡眠・寝たきりを防ぐ		NHKエデュケーショナル	1996	52	第15巻①お年寄りの睡眠について ②生活リズムを整える ③寝室の環境づくりと寝具の選び方 第16巻①寝たきりという現象 ②寝たきりゼロへの10か条
A029		○	在宅介護の基礎と実践 第9巻	お年寄りを理解する・住まいの工夫		NHKエデュケーショナル	1996	52	第17巻①お年寄りの大切さ ②お年寄りの体を理解する ③お年寄りの心を理解する 第18巻①お年寄り住宅と住宅改造 ②住宅改造の実例 ③理想的な住環境
A030		○	在宅介護の基礎と実践 第10巻	便利な福祉機器・在宅介護の相談と支援		NHKエデュケーショナル	1996	57	第19巻①福祉機器の効用と選び方 ②福祉機器の種類と使い方 ③これからの福祉機器 第20巻①介護保険と介護サービスの利用 ②介護サービスの種類 ③様々な相談窓口
A031	○		すこやかシルバー介護1	寝たきりの人の介護1 ～在宅介護の準備～		NHKソフトウェア	2001	30	・在宅介護の準備 ・介護に適した部屋 ・シーツの取りかえ方 ・床ずれの予防 ・体調チェック表 ・福祉サービスについて

A 高齢者福祉

分類番号	VHS	DVD	タイトル	サブタイトル	企画	製作	制作年度	時間(分)	内容
A032	○		すこやかシルバー介護2	寝たきりの人の介護2 ～からだをきれいにさわやかに～		NHKソフトウェア	2001	30	・からだのふき方 ・便器の使い方 ・尿器の使い方 ・おむつのかえ方 ・しものお世話 ・自力でトイレに行く工夫
A033	○		すこやかシルバー介護3	楽しい食事の工夫		NHKソフトウェア	2001	30	・歯が悪くなった人のための食事 ・のみ込みが悪くなった人のための食事 ・食が細くなったときの料理
A034	○		すこやかシルバー介護4	痴ほう症の人の介護		NHKソフトウェア	2001	30	・痴ほう症の主な原因(アルツハイマー病、血管性) ・痴ほう症の人に起きやすい症状(妄想、徘徊、せん妄、異常行動、暴力行為) ・一人で抱え込まないために
A035	○		すこやかシルバー介護5	寝たままできるリハビリ体操		NHKソフトウェア	2001	30	・腹式呼吸と肩の運動 ・股関節とひざの運動 ・腰と腹筋の運動
A036	○		すこやかシルバー介護6	安心できる住まいの工夫		NHKソフトウェア	2001	30	・家の中の危険なポイント ・玄関や居室の段差解消の工夫 ・使いやすいトイレの工夫 ・安全な浴室の工夫 ・住宅改造のポイントと相談窓口
A037	○		すこやかシルバー介護7	便利な福祉用具の選び方		NHKソフトウェア	2001	30	・ベッドの選び方 ・車椅子の選び方 ・ポータブルトイレの選び方 ・移動用リフトの種類 ・福祉用具を選ぶポイント ・福祉用具のための助成制度
A038	○		すこやかシルバー介護8	知っておきたい福祉サービス		NHKソフトウェア	2001	30	・福祉サービスの種類 ・訪問サービス ・通所サービス ・入所サービス ・相談窓口
A039	○		ホームヘルパーのための実践ビデオ	こころに響く接遇	中央法規出版	中央法規出版	2000	39	いま、ホームヘルプサービスにおける「接遇」の重要性が問われています。「こころに響く接遇」とは？このビデオでは、利用者が主役となる「接遇」のあり方を、ロールプレイングや実際の介護場面を通して分かりやすく解説します。また、接遇改善の方法についても概説します。
A040	○		介護技術ビデオ「シリーズ動く」第1巻	1 ボディメカニクス		中央法規出版	2000	23	「人体の構造」「ボディメカニクス」「ボディメカニクス8つの原則」を8つのQuestionとCG・実験映像・イラストでわかりやすく解説します。また、介護場面では一連の動作の中で「ボディメカニクス」がどう活用されているかを学びます。
A041	○		介護技術ビデオ「シリーズ動く」第2巻	2 「座る」を支援する		中央法規出版	2000	33	アクティブな生活の出発点としての「座る」ことに視点をあて、座ることができなくなった場合の弊害を理解し、座位の効果と重要性を学びます。
A042	○		介護技術ビデオ「シリーズ動く」第3巻	3 「歩く」を支援する		中央法規出版	2000	32	生活空間を広げ自己実現を可能にする「歩く」ことに視点をあて、立ち上がりや歩行のメカニズム、高齢者の歩き方の特徴を理解します。
A043	○		誰でもできる高齢者の口腔ケア 第1巻	1 基礎知識・準備編	中央法規出版	中央法規出版	2003	46	①簡単(誰にでも短期間にできる)、②安全(誤嚥など危険がない)、③省力(看護・介護負担の低下)、④有効(確実な効果)、⑤普遍性(誰が行っても同等の有効性)、⑥経済性(誰でもが実施できる費用)、⑦1口腔単位(口腔全体の清掃)のコンセプトで開発された、口腔ケア標準マニュアル(口腔ケアシステム)を紹介しま
A044	○		誰でもできる高齢者の口腔ケア 第2巻	2 実践編	中央法規出版	中央法規出版	2003	39	①簡単(誰にでも短期間にできる)、②安全(誤嚥など危険がない)、③省力(看護・介護負担の低下)、④有効(確実な効果)、⑤普遍性(誰が行っても同等の有効性)、⑥経済性(誰でもが実施できる費用)、⑦1口腔単位(口腔全体の清掃)のコンセプトで開発された、口腔ケア標準マニュアル(口腔ケアシステム)を紹介しま
A045	○		痴呆の人の体験世界を感じてみよう	痴呆介護の原点として	(株)シルバーチャンネル	高齢者痴呆介護研究 研修東京センター	2003	30	同じ場面においても痴呆の人は思いがけない体験をしています。痴呆の人に関わる原点として、痴呆の人の目線に切り替えてその体験を感じ取る試みをしてみましょう。
A046	○		ユニットケアのポイント	入居者一人ひとりの生活を支えるために	高齢者痴呆介護研究 研修東京センター	中央法規出版	2004	20	ユニットケアは、入居者一人ひとりを尊重し、その人らしい生活を支えるために、様々な実践の積み重ねによって生まれた、高齢者の尊厳を支える手法として考えられています。このビデオでは、ユニットケア施設研修をもとに、各施設がユニットケアを導入するうえで欠くことのできない視点を簡潔にまとめました。

A 高齢者福祉

分類番号	VHS	DVD	タイトル	サブタイトル	企画	製作	制作年度	時間(分)	内容
A047	○		ユニットケアのハードウェア	生活の場としての高齢者施設	認知症介護研究・研修東京センター	中央法規出版	2005	23	これからの高齢者施設の建設を考えるうえで考慮すべきポイント等をまとめます。
A048	○		困難事例等の対応技術 ケア計画の作成と記録・報告 の技術 I	ホームヘルパー養成研修・実 技講習用ビデオ	財団法人 長寿社会 開発 センター	東京シネ・ビデオ株 式会社	1998	33	独居で虚弱な高齢者の援助・認知症高齢者と多くの困難を抱えた家族への援助 (このビデオは困難事例等の対応技術(1級課程)、ケア計画の作成と記録・報告の 技術(2級課程)の2教科に対応できる内容となっております。)
A049	○		困難事例等の対応技術 ケア計画の作成と記録・報告 の技術 II	ホームヘルパー養成研修・実 技講習用ビデオ	財団法人 長寿社会 開発 センター	東京シネ・ビデオ株 式会社	1998	25	重介護を要する家族への援助 (このビデオは困難事例等の対応技術(1級課程)、ケア計画の作成と記録・報告の 技術(2級課程)の2教科に対応できる内容となっております。)
A050	○		ホームヘルパーの役割と可 能性(全2巻)	①暮らしを支える②思いを支 える	中央法規出版(株)	佐賀由彦事務所	2004	41・43	①「主体性」「継続性」「個別性」の3つをキーワードに、在宅における利用者の生活 をとらえ、その時の援助者の姿勢や視点について、事例をとおして考えます。 ②利用者の思いや希望をどのように感じ取り、受け止め、信頼関係を築きながら支 えていくのかについて、事例をとおして考えます。
A051		○	看護・介護職のための”持ち 上げない”移動・移乗技術	“持ち上げない”から始めよ う!	中央法規出版(株)	(株)グループ現代	2005	37	北欧で広く普及している“利用者の力を引き出し”“介助者にもやさしい”移動・移乗 技術について、最も基本となる考え方と技術を紹介しています。腰痛に悩む看護・ 介護職のみなさんへ、利用者との双方にとってやさしい移動・移乗技術を提案 します。
A052	○		ひとり人が輝く認知症ケア シリーズ①心の奥に気づくに は？[メッセージの読み取り]		インターメディカ	インターメディカ	2006	30	入居者とスタッフの散歩の記録ビデオ、ビデオを見て話し合うスタッフ・ミーティ ング、CGで見るケアのプロセス、「気づき」から、料理に加わることができた入居者、 失語症の入居者の目を見て、意思を読み取る、重度アルツハイマー病の入居者が 声・目・手で伝える意思表示、「気づき」から、靴下の穴かがりを実践してみせる例、 「植物が大好き」と気づく大切さ
A053	○		ひとり人が輝く認知症ケア シリーズ②居場所探し[帰宅 願望]		インターメディカ	インターメディカ	2006	30	入居者の夜間外出に、スタッフが付き添う記録ビデオ、ビデオを見て話し合うスタッ フ・ミーティング、外出した方と一緒に戻るスタッフ、「帰宅願望」によりホームを歩き 回る入居者、ホームの姿勢とスタッフの取り決め、日々起こる帰宅願望に対応する ケアの実例、生活歴と残っている力に応じた暮らしの組み立て、役割の発見、庭に 野菜畑を作り、ホームが居場所になった実例
A054	○		ひとり人が輝く認知症ケア シリーズ③おいしく食べるに は？[食のケア]		インターメディカ	インターメディカ	2006	30	入居を拒み、拒食した方の記録ビデオ、ビデオを見て話し合うスタッフ・ミーティ ング、行動障害のひとつ拒食が解消された実例、手づかみで食べる方へのケア、 好きなものを自由に食べられるケア、重度の認知症のある人の声や目、手の動き による意思表示、おいしく食べるケア、入居者とスタッフがいっしょに取り組む「メ ニュー作り」
A055	○		ひとり人が輝く認知症ケア シリーズ④気持ちのよい排泄 とは？[排泄のケア]		インターメディカ	インターメディカ	2006	30	放尿を見たスタッフのインタビューの記録ビデオ、ビデオを見て話し合うスタッフ・ ミーティング、室内の放尿に関するスタッフの話し合い、室内での放尿の報告に応 えて、ケアの課題を解き明かすホーム長、ひとり人の排泄パターンを記録した排 泄表、本人が発しているメッセージに「気づく」重要性、自尊心を傷つけない誘導の 大切さ
A056	○		グループホームでのターミナ ルケア	今、私たちにできること	日本介護支援協会	シルバーチャンネル	2005	31	「住み慣れた場所で、その人らしく最期を迎えるための、医療・介護のあり方」=『福 祉ターミナルケア』。4つのグループホームの事例発表会から、利用者・家族・医 療・施設スタッフとの関わりを見つめ、グループホームでの福祉ターミナルケアにつ いて考えていく。
A057	○		住み慣れた場所で私らしく	在宅ターミナルケアを支える ケアマネージャーの役割	日本介護支援協会	シルバーチャンネル	2005	21	在宅ターミナルケアを迎える高齢者は、年々増加傾向を示している。在宅ターミナ ルケアの実態調査報告を踏まえ、ケアマネージャーの役割について考えていく。
A058		○	求められる地域介護サービ スと認知症ケア(全2巻)		東京シネ・ビデオ(株)	東京シネ・ビデオ(株)		32・51	2006年4月からの介護保険制度改正により、認知症や中重度の病気、障害があつ ても、できる限り住み慣れた地域でこれまでの生活が継続できるよう新たなサービ ス体系として地域密着型サービス 小規模多機能型居宅介護が創設された。 この制度とサービスの実際、事例検討に基づく認知症ケアのこれからを考える。
A059		○	第1巻 「入れ歯」紛失から学 ぶ	介護現場のリスクマネジメント (施設編)	ピース・クリエイト有 限会社	ピース・クリエイト有 限会社	2006	29	①「自分が入りたい施設」をめざして開設されたアルペンハイツ ②重大事故を乗り 越えて ③アルペンハイツの「入れ歯」紛失の件から学ぶ ④「リスクマネジメント」 の取り組みで明るい職場が ⑤田中とも江さんのまとめのコメント

A 高齢者福祉

分類番号	VHS	DVD	タイトル	サブタイトル	企画	製作	制作年度	時間(分)	内容
A060		○	第2巻 ヒヤリ・ハットをそのままにしない	介護現場のリスクマネジメント(施設編)	ピース・クリエイト有限会社	ピース・クリエイト有限会社	2006	28	①「利用者の満足」をモットーにオープンしたクロスハート栄・横浜 ②「まあいいか」が招いたヒヤリ・ハット ③ISOを取得し安心・安全の質の向上をめざす ④事故を起こさない取り組みは、質の高い、利用者に安心と、満足のサービスを提供する要 ⑤.田中とも江さんのまとめのコメント
A061	○		個室化・ユニットケア	特養ホームはこう変わる	地域ケア政策ネットワーク	地域ケア政策ネットワーク		60	「個室化・ユニットケア」の基本となる考え方を従来型の特別養護老人ホームとの比較や、これまで個室化の推進をはばんできた誤解に基づく「懸念」に対する検証等を紹介する施設職員・自治体職員等を対象にした研修用ビデオ。
A062		○	認知症の基礎知識とケア(第1巻)	認知症の症状と理解	丸善(株)	丸善(株)		30	記憶のメカニズム→中核症状→周辺症状や行動上の問題、という関連を理解し、認知症の患者に対する合理的で創造的な援助の基礎を詳説する。 ・認知症とは？認知症の症状(中核症状と周辺症状)、記憶のメカニズム、認知症による障害(記名力障害、実行機能の障害、見当識の障害)
A063		○	認知症の基礎知識とケア(第2巻)	認知症の早期診断と治療	丸善(株)	丸善(株)		31	介護される客体でしかなかった認知症の患者を、生きる主体として認識し、その人生を支援するには、能力が保たれている早期の段階から患者を含めたケアチームを作っていかなければならない。その前提となる早期診断、治療、支援について解説する。 ・早期診断の重要性、認知症の診断、認知症の治療、認知症による生活の支障
A064		○	認知症の基礎知識とケア(第3巻)	認知症のリハビリテーション	丸善(株)	丸善(株)		21	進行した患者に対するケアの考え方を、精神医学的な視点から学ぶ。なぜ排泄の失敗が増え、それに対していかなる介護が合理的であるかを解説する。 ・認知症のリハビリテーション、記憶の強化(メモリー・トレーニング)
A065		○	認知症の基礎知識とケア(第4巻)	認知症の支援 ～ケアの手がかりと周辺症状への対応～	丸善(株)	丸善(株)		21	患者が早期診断を受け、自身の生活を可能な限り維持し、やがては通所リハビリ制度や家事援助を利用し、さらに進行すれば在宅介護、さらには施設ケアにと、移行するプロセスを追って、その対応の仕方を理解する。 日常行動援助の原則、ADLの介助(排泄など)、BPSDへの対応(精神症状や問題行動、徘徊、妄想)
A066		○	認知症の基礎知識とケア(第5巻)	人権の擁護と施設のリスク管理	丸善(株)	丸善(株)		29	虐待防止法、成年後見制度、個人情報保護法、地域福祉権利擁護事業など、高齢者の権利擁護に関わる法律、制度の概略を理解する。 ・人権擁護の考え方、高齢者虐待防止法、認知症医療における人権擁護、介護サービス利用における人権擁護、経済活動における人権擁護(成年後見制度など)
A067		○	項目別 介護技術のコツと実践 VOL1	身体を動かす・日頃の健康管理	(有)デジタルメディア企画	(有)デジタルメディア企画		60	<身体を動かす>・ベッドの上で身体の向きを変える・ベッドの上で起き上がる・ベッドから足を下ろして座らせる・ベッドから移る・ベッド上での楽な体位 <日頃の健康管理>・日頃の健康管理・家庭で出来る腰痛体操・高齢者の筋力トレーニング
A068		○	項目別 介護技術のコツと実践 VOL2	もしもの対応・リハビリテーション	(有)デジタルメディア企画	(有)デジタルメディア企画		46	<もしもの対応>・転倒防止・脳卒中で急に倒れたら・緊急時の対応・異物がのどにつまったら・薬の知識 <リハビリテーション>・寝たまま出来るリハビリ訓練(介護者が行なう場合)・寝たまま出来るリハビリ訓練(本人が行なう場合)・座って出来るリハビリ訓練・立って行なうリハビリ訓練
A069		○	項目別 介護技術のコツと実践 VOL3	清潔を保つ・排せつのお世話	(有)デジタルメディア企画	(有)デジタルメディア企画		50	<清潔を保つ>・部屋の環境・身体の清潔・清拭・パジャマの着替え方・入浴のお世話・床ずれ・尖足予防 <排せつのお世話>・トイレの工夫・便器について・おむつについて
A070		○	高齢者ケアのための感染症予防 1	手洗いの基本	(株)ジャパン通信情報センター	(株)ジャパン通信情報センター	2004	12	感染症は、菌の数が一定量を超えたときに起こります。したがって、菌の数をできるだけ減らすことが、感染の予防に大きな効果をもたらします。高齢者のケアをする際にも、石鹸を使い流水で強めにもみ洗いをすれば、短時間でほとんどの菌を除去できます。このビデオでは、最も身近で有効な感染の予防対策である「手洗い」の基本と、一般的な消毒を紹介します。
A071		○	高齢者ケアのための感染症予防 2	O-157と食中毒	(株)ジャパン通信情報センター	(株)ジャパン通信情報センター	2004	14	世間を騒がせている病原性大腸菌O-157は、食物や水などにより感染します。この菌の感染性や毒性は「赤痢菌」並みといわれ、二次感染を起こしやすいのが特徴です。しかし、熱に弱く、一般的な食中毒の予防法を守っていれば感染の心配はありません。このビデオでは、食品の購入方法や保存のポイント、食材についての菌の除去、残った料理の保存法、一般的な食中毒の予防法などについて解説します。

A 高齢者福祉

分類番号	VHS	DVD	タイトル	サブタイトル	企画	製作	制作年度	時間(分)	内容
A072		○	高齢者ケアのための感染症予防 3	MRSA	(株)ジャパン通信情報センター	(株)ジャパン通信情報センター	2004	13	院内感染の代表格となっている「MRSA」はメチシリン耐性黄色ブドウ球菌といい、ペニシリンの一種であるメチシリンをはじめ、多くの抗生物質が効かなくなった耐性菌です。寝たきりになったお年寄りなど、抵抗力が弱くなった人に感染しやすく、病院や老人福祉施設だけでなく在宅ケアの現場にも持ち込まれるようになっています。このビデオでは、MRSAの除菌の方法や、保菌者に対してサービスを提供するときポイントについて解説します。
A073		○	高齢者ケアのための感染症予防 4	B型肝炎・C型肝炎	(株)ジャパン通信情報センター	(株)ジャパン通信情報センター	2004	11	日本人の肝臓病の約80%は、肝炎ウイルスが原因です。肝炎のなかでもB型とC型は血液が感染源となり、慢性化する場合があるので、お年寄りのケアをする際にも注意が必要です。このビデオでは、食事や排泄、入浴を介助するときのポイントや、食器や器具、消毒の方法などについて解説します。
A074		○	高齢者ケアのための感染症予防 5	疥癬(ひぜんだに)	(株)ジャパン通信情報センター	(株)ジャパン通信情報センター	2004	11	疥癬は俗称「ひぜん」とも呼ばれ、ヒゼンダニが寄生して起こる皮膚病です。第二次世界大戦後の衛生状態の悪いときに多発しましたが、最近では老人ホームなどの共同生活者の間での感染や、デイサービスやデイケアなど、在宅サービスの利用者の間での感染も増えています。このビデオでは、疥癬の病状やその特徴、感染者のケアをするときのポイント、器具や寝具の消毒の方法などについて解説します。
A075		○	介護職のコミュニケーション技術	利用者とかかわるスキルの習得と実践	中央法規出版(株)	(株)グループ現代	2014	83	I 生活場面別のコミュニケーション II 障害別のコミュニケーション
A076		○	潜在力を引き出す介助	部分介助・拘縮へのアプローチ		佐賀由彦事務所		75	潜在力を引き出す介助とは I 評価に基づく部分介助へのアプローチ II 拘縮予防・軽減へのアプローチ
A077		○	喀痰吸引・経管栄養の手順と留意点		中央法規出版(株)	中央法規出版(株)	2012	60	○医療倫理とチーム医療○喀痰吸引○経管栄養○救急蘇生法○「医療的ケア」にかかわる方々へ
A078		○	根拠に基づく生活支援技術の基本	見てわかる利用者主体と自立支援の実践	中央法規出版(株)	佐賀由彦事務所	2015	①91 ②73 ③95	Disc1-基本動作の支援 感染の予防/ボディメカニクス応用/体位と姿勢の変換の介助/移動と移乗の介助 Disc2-生活行為の支援① 食事の介助/口腔ケアの介助/排泄の介助 Disc3-生活行為の支援② 衣服の着脱の介助/入浴と清潔の保持の介助/整容の介助/ベッドメイキング
A079		○	認知症の人といっしょに生きる		中央法規出版(株)	(社福)浴風会ケアスクール	2008	68	第1部 認知症という病気と認知症の講堂・心理症状への対応 第2部 認知症ケアを施設改革のきっかけに 第3部「新たな支え合い」を地域につくる
A080		○	新セルフチェック基礎介護技術	根拠から理解して身につける	中央法規出版(株)	(株)グループ現代	2008	137	共通因子から学ぶ、基礎介護技術 領域①体位変換 領域②移乗・移動介助 領域③更衣介助 領域④食事介助 領域⑤清潔介助 領域⑥排泄介助
A081		○	高齢者のレクリエーション支援	遊びが福祉を豊かにする		(株)アローウィン	2013	59	○「楽しいレクリエーション」の時間を作るにはどうしたらいいのか？○筋トレ、脳トレで活力は生み出せるのか？○認知症の高齢者にはどのようなレクリエーションが向いているのか？○特別養護老人ホームでのレクリエーションはどんな形で行われているのか？○有料老人ホームならではのレクリエーションとは？○レクリエーションと地域との関係は？
A082		○	体験！利用者の気持ちを感じ取るトレーニング（初級編）	介護におけるコミュニケーション技術		(株)アローウィン	2009	55	三択問題として52事例。解答を三つの選択肢から選ぶ三択問題です。利用者がどのような思いでいるのか、なぜそのような顔をするのか、その表情やしぐさから気持ちを読み取るトレーニングです。
A083		○	体験！利用者の気持ちを感じ取るトレーニング（中級・上級編）	介護におけるコミュニケーション技術		(株)アローウィン	2009	57	推測問題として37事例。微妙な表情やちょっとしたしぐさから利用者の気持ちを読み取り、推測するトレーニングです。
A084		○	「いまを生きるを大切に」ICFの視点によるこれからの介護	第1巻 介護の新しい視点ICF	東京シネ・ビデオ(株)	東京シネ・ビデオ(株)		24	1、認知障害をとらえるICFの視点 2、医学モデルと社会モデルによる介護 3、ICFの視点を活かしたケアの実践 4、ICFの分類をケアに活かす
A085		○	「いまを生きるを大切に」ICFの視点によるこれからの介護	第2巻 利用者のニードと食事・入浴・排泄におけるケア	東京シネ・ビデオ(株)	東京シネ・ビデオ(株)		38	1、ICFの視点から見直す食事の介護 2、ICFの視点から見直す入浴の介護 3、ICFの視点から見直す排泄の介護

A 高齢者福祉

分類番号	VHS	DVD	タイトル	サブタイトル	企画	製作	制作年度	時間(分)	内容
A086		○	「いまを生きるを大切に」 ICFの視点によるこれからの 介護	第3巻 ICFの視点によるケアプラン	東京シネ・ビデオ(株)	東京シネ・ビデオ(株)		27	1、ICFの障害のとらえ方 2、ICFの視点を活かすケアプラン 3、本人の可能性を活かす介護
A087		○	新・感染症対策シリーズ	第1巻 これだけは知っておきたい感染 症の基礎知識	ジャパン通信情報セ ンター	ジャパン通信情報セ ンター	2009	20	
A088		○	新・感染症対策シリーズ	第2巻 ノロウイルス	ジャパン通信情報セ ンター	ジャパン通信情報セ ンター	2009	12	
A089		○	新・感染症対策シリーズ	第3巻 結核	ジャパン通信情報セ ンター	ジャパン通信情報セ ンター	2009	11	
A090		○	新・感染症対策シリーズ	第4巻 インフルエンザ	ジャパン通信情報セ ンター	ジャパン通信情報セ ンター	2009	16	
A091		○	Working for Welfare ～Clues to the Future～ 将来への手掛かり	笑顔を支えるプロフェッショナル	千葉県福祉人材セン ター		2015	52	福祉の仕事 魅力発信DVD 精神保健福祉士・保育士・看護師・介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門員
A092		○	老健施設の介護のやりがい と魅力		公益社団法人 全国老人保健施設協 会			9	
A093		○	認知小児なっても安心して暮 らせるまちづくりを目指し て…	～認知症声かけ模擬訓練とSO Sネットワーク作りへの挑戦～	NPO法人はなのい え	NPO法人はなのい え	2016	20	NPO法人 はなのいえでは、認知症の理解と地域で認知症をもつ方を支える為の 啓発を目的に、姫路市と協働で「認知症声かけ模擬訓練」を実施しました。この度、 その訓練の様子をDVDにしました！
A094		○	「動き出しは本人から」の介 護実践	利用者の思いに気づく、力を 活かす		中央法規出版	2019	122	介護技術で利用者を動かすのではなく、利用者の動き出しを待ち、適切な支援で 動きをつなぐ。この「動き出しは本人から」の考え方と実践方法を解説する。丁寧な 解説、実践演習、利用者映像等により、利用者主体のかかわりの意味と大切さ、 効果を伝える。
A095		○	改訂長谷川式簡易知能評 価 スケールの手引き	臨床現場における正しい 使い方と活かし方	著者：長谷川和夫 解説：加藤伸司	NHKエンタープライズ 発行所：中央法規出 版	2020		長谷川式認知症スケールは、誤まった方法でテストをする方も多く、スケールの使 い方を 開設した一冊。結果を臨床やケアの場面で活用する方法も紹介。付属のDVDで は、長谷川和夫先生自らがスケールを実演。
A096		○	ゆうゆう倶楽部通信 リズム手拍子で頭の体操		一般財団法人 ふくしまをリハビリで 元気にする会				
A097		○	私たちが考えた介護	介護予防体操 version X	一般財団法人 ふくしまをリハビリで 元気にする会				
A098		○	利用者にも介助者にも 安心・快適な介護技術	現場の「困った！」を解決でき る		グループ現代	2020	120	体重差・体格差があっても、お互いに負担なく続けられる介助方法がココにあります。
A099		○	ミニドラマで考える介護職員 のための不適切ケア防止		第一法規株式会社		2022	32	事例1：利用者の尊厳を軽視した接遇 事例2：利用者の要望への不誠実な対応 事例3：利用者の行動の制限 事例4：利用者のプライバシーへの配慮に欠けた行動 事例5：利用者の自立・自律を妨げる効率重視の行動
A100		○	ミニドラマで考える介護職員 のためのハラスメント予防と 対応		第一法規株式会社		2022	35	事例1：パワーハラスメント 事例2：セクシュアルハラスメント 事例3：マタニティハラスメント 事例4：利用者からのハラスメント 事例5：利用者家族からのハラスメント